

## 新年のご挨拶

院長 松島 聡

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、私ごとではございますが、昨年4月に済生会明和病院の院長を拝命し、明和病院および明和グループの責任者として初めての新年を迎えることができました。これもひとえに患者・利用者の皆様、ご家族様、地域の皆様ならびに関わっていただいた全ての方々のおかげと心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、5月に賢島で伊勢志摩G7サミットが開催されました。私たちの郷土が世界中に注目された素晴らしいイベントであったと思います。また、8月のリオ・オリンピックでは、三重県出身の吉田沙保里選手や土性沙羅選手などの大活躍があり、大いに楽しませてもらいました。また、パラリンピックでは、当院整形外科非常勤医で義肢・装具専門の加藤弘明先生の指導の下、前川楓選手が走り幅跳び4位と大健闘しました。一方、4月には熊本地震がありました。済生会本部からの要請により、当院からも医療救護班を熊本県へ派遣しました。明和病院開設以来初の災害派遣で大変心配しましたが、派遣した職員全員が職務を果たし無事に帰ってきたことが何よりでした。近年、自然災害が多く発生していますが、今年は穏やかな1年であってほしいと切に願っております。

当院は、平成10年に済生会の病院となり徐々に体制を整えてきましたが、平成26年に新病院が完成したことで、かつての国立療養所であった頃とは違い、地域に根ざした、地域の皆様のための病院に完全に生まれ変わりました。これから、さらに皆様とともに明和病院を発展させていきたいと思っております。皆様のお力添えを末永くお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして最高の1年でありますように祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。